

■主役は俺だ－2024年秋⑤

□友田悠斗（ともだ・ゆうと） 室蘭工業大3年 RB/LB



6月30日の東京農業大とのオープン戦。室蘭工業大が8－6とリードした第4Q10分過ぎ、敵陣40ヤードでハンドオフを受けてスクリメージラインを突破すると、ブロッカーを生かしてみるみる加速。一気にエンドゾーンまで駆け抜けて、試合を決定づけるTDを奪った。「1年ぶりのRBだったが、ブロッカーをうまく使えた」と言葉を弾ませた。LBでも第2Qに、同点に追いつくきっかけとなるインターセプトを決めた。1年生で2部の新人賞に輝き、チームの1部復帰に合わせるように攻守の中心選手に成長した姿を強烈にアピールした。

小学校から岡山・玉島高までサッカー部。大学入学後にタッチフットボールの体験会でアメフトのおもしろさを知り入部した。166センチ、65キロと小柄ながら、サッカーで鍛えた脚力を生かせるポジションにとRBを志望。「RBはLBもやる」との先輩の一言でLB兼務になった。RBの魅力「主役になれること」と言い切り、LBは「ビッグプレーができること」と目を輝かせる。強気一辺倒の性格にも見えるが、「自分の持ち味はスピードと観察力です」と、研究心も忘れない。オープン戦のインターセプトも「チームにとって大きなプレーになった」と満足そうに振り返った。

1部に復帰して2年目となる今季のブラック・パンサーズ。昨季は1部で10年ぶりの勝利を喜んだが、今季は白星を上積みして3位以上がチームの目標だ。「LBとしてオフェンスにつながるプレーをしたい。チームを勢いづけるプレーにこだわりたい。ファンブルフォース、パスカット、強烈なタックル」。次々と秋季リーグに向けた決意がほとぼしる背番号ゼロ。昨季の北海道大戦で6－100と大敗した屈辱も発憤材料だ。「もうこわいものは無い。びびらずにチャレンジしたい」と宣言した。（塚田博）

〈プロフィール〉

2003年12月9日、岡山県浅口市生まれ。工学部創造工学科電気電子工学コース3年。チームの躍進に加え、「目標はベストイレブン」ときっぱり。